

## 船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第87号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月10日（金） 16時30分ごろ	
発生場所	神奈川県平塚市 平塚沖波浪観測塔灯から真方位082° 580m付近 （概位 北緯35° 18.4′ 東経139° 21.0′）	
事故等調査の経過	平成21年4月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船種船名、総トン数 モーターボート 第六とも丸、5トン未満</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 船舶番号、船舶所有者等 235-21050神奈川、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 乗組員等に関する情報 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	バッテリー過放電、右舷側のガンネル部にき裂、キャビン窓ガラスの破損、浸水し沈没	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗船し、茅ヶ崎市柳島海岸沖で釣りをしたのち、帰港することとしたが、相模川河口の水位低下が予想より早く、錨泊して潮待ちしていたところ、GPSのバッテリー電圧低下警報が発せられ、機関の始動ができなくなった。</p> <p>この後、本船は、錨用ロープの直径約10mmのナイロンロープが船体と擦れて切断したため、風速約7m/sの南風と潮流により、北方に漂流し、平成21年4月10日16時30分ごろ、平塚市の平塚漁港西側の砂浜に乗り揚げた。</p> <p>船長及び同乗者の計7人は陸上に逃れることができたが、風浪が強く、船体が波に叩かれて右舷側のガンネル部にき裂とキャビン窓ガラスの破損を生じ、砂混じりの海水が浸水した。4月12日17時00分ごろ、本船は、ボートレスキューサービス（BAN）により離礁され、えい航されて平塚新港に向かったが、17時30分ごろ浮力を失い、同港内で沈没した。</p>	
気象・海象	気象：風向 南、風速 約7m/s	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、バッテリーの過放電により機関が始動できず錨泊中、錨用ロープが切断して風潮に圧流され付近の砂浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、平塚漁港西部においてバッテリーの過放電により機関が始動できず錨泊中、錨用ロープが切断したため、風潮により圧流され砂浜に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	